

# 農産物の残留農薬検査結果(令和2年1月)

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和2年1月に各区福祉保健センターが収去した農産物の検査結果を報告します。

## ・国内産農産物

1月に収去された、かぼちゃ、キャベツ、じゃがいも、トマト、菜の花、にんじん、はくさい及びりんご(各1検体)の計8検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。トマト、菜の花、はくさい及びりんご各1検体から延べ11項目の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

表1 残留農薬検査結果

(令和2年1月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
国内産農産物						
かぼちゃ	鹿児島県	1	0			
キャベツ	愛知県	1	0			
じゃがいも	鹿児島県	1	0			
トマト	栃木県	1	1	* アゾキシストロビン フルジオキサニル ボスカリド メタラキシル及びメフェノキサム	0.04 0.13 0.11 0.02	3 5 5 2
菜の花	香川県	1	1	* シアゾファミド チアメキサム	0.07 0.01	20 5
にんじん	千葉県	1	0			
はくさい	茨城県	1	1	* イミダクロプリド ボスカリド	0.01 0.06	0.5 40
りんご	青森県	1	1	* アセタミプリド シペルメリン フェニトロチオン	0.02 0.05 0.01	2 2.0 0.5

\*中括弧({})は同一検体からの検出

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物			
		A	B	C	D			A	B	C	D
BHC(α,β,γ及びδの和)	0.005	○	—	○	○	イソキサチオン	0.01	—	○	○	○
DDT(DDE,DDD,DDTの和)	0.005	○	○	○	○	イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	エトキサゾール	0.01	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	○	エトフェンプロックス	0.01	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	エポキシコナゾール	0.01	○	○	○	○
アラクロール	0.01	○	○	○	○	エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	○	○	○	○
アルドリノ及びディルドリン	0.005	○	—	○	○	エンドリン	0.005	○	○	○	○

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出限界 (ppm)	農産物			
		A	B	C	D			A	B	C	D
オキサミル	0.01	○	○	○	○	ピリミノバックメチル	0.01	○	○	○	○
カルバリル	0.01	○	○	○	○	ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○
カルプロパミド	0.01	○	○	○	—	ファモキサドン	0.01	○	○	○	○
クミルロン	0.01	○	○	○	○	フィプロニル	0.002	○	○	○	○
クレソキシムメチル	0.01	○	○	○	○	フェナリモル	0.01	○	○	○	○
クロチアニジン	0.01	○	○	○	—	フェントロチオン	0.01	○	○	○	○
クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○
クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○
クロルプロファミ	0.01	○	○	○	○	フェンバレレート	0.01	○	○	○	○
クロロクソン	0.01	○	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	—	フェンブコナゾール	0.01	○	○	○	—
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	フェンプロパトリン	0.01	○	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	○	フサライド	0.01	○	○	○	○
ジエトフェンカルブ	0.01	○	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○
ジコホール	0.01	○	○	○	○	ブプロフェジン	0.01	○	○	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	○	○	フルジオキシニル	0.01	○	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	—	○	フルシトリネート	0.01	○	○	○	○
シフルトリン	0.01	○	○	○	○	フルトラニル	0.01	○	○	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	—	○	フルバリネート	0.01	○	○	○	○
シプロコナゾール	0.01	○	○	○	○	フルフェノクソン	0.01	○	○	○	○
シペルメトリン	0.01	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○
ジメエート	0.01	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○
ジメモルフ	0.01	○	○	○	—	プロチオホス	0.01	○	○	○	○
シラフルオフエン	0.01	○	○	○	○	プロパホス	0.01	○	○	○	○
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	○	○	○
チアクロプリド	0.01	○	○	○	○	プロモプロピレート	0.01	○	○	○	○
チアメキサム	0.01	○	—	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○	○	○
テトラコナゾール	0.01	○	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	—	○	○
テブコナゾール	0.01	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	ペンコナゾール	0.01	○	○	○	○
テブフェンピラド	0.01	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○
トリアゾホス	0.01	○	○	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	○
トリチコナゾール	0.01	○	○	○	—	ボスカリド	0.01	○	○	—	○
トリフルラリン	0.01	○	—	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	—
トリフロキシストロビン	0.01	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	マイクロブタニル	0.01	○	○	○	○
トルフェンピラド	0.01	○	○	○	—	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○	○	○
ノバルロン	0.01	○	○	○	○	メチダチオン	0.01	○	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	メトラクロール	0.01	○	○	○	○
ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○	○
ピリダベン	0.01	○	○	○	○	リンデン( $\gamma$ -BHC)	0.005	○	○	○	○
ピリプロキシフェン	0.01	○	○	○	○	ルフェヌロン	0.01	○	○	○	○
ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○	レナシル	0.01	○	○	○	○

A:かぼちゃ、トマト、菜の花、にんじん B:キャベツ、はくさい C:じゃがいも D:りんご

○:実施、—:実施せず

DDT:*p,p'*-DDE、*p,p'*-DDD、*o,p'*-DDT 及び *p,p'*-DDT の和

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】